



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

## 2015年3月号ブリテン 第298号

### 2014-2015年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「言葉より行動を—今すぐやろう！」(インド)  
「未来を始めよう、今すぐに」 (西日本区)  
「誇りと喜びを持って」 (東京クラブ)  
「スピードをもって前に進もう」 (富士五湖)  
「大きく強く」—再度挑戦

会長 長津 徹  
副会長 大谷 博愛  
書記 深田 恭司  
会計 柴田 弘子  
直前会長 小山 憲彦  
担当主事 岡田 ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Isaac Palathinkal  
アジア会長 岡野 泰和  
東日本区理事 田中 博之  
あずさ部部長 望月 勉  
サンライズ会長 長津 徹

### 3月第一例会のお知らせ

とき 3月12日(木) 19:00~21:00  
ところ 東京YMCA 山手センター  
かいひ 500円  
とうばん (巻組)小山(久)、内迫、小野田、菘刈、染谷、深田(晶)

#### ◆プログラム

開会点鐘 会長  
ワイズソング・ワイズの信条 一同  
ゲスト・ビジターの紹介 会長  
卓話 『グローバル時代における留学事情と日本の政策—留学生を支え続けて—』  
公益財団法人かめのり財団事務局長 西田浩子さん  
ハッピーバースデー 会長  
協議・報告・連絡事項 会長・各担当  
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員  
閉会点鐘 会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で  
伊丹亭 21:15~

### 3月以降の予告

3月21日(土) 第二(お散歩)例会 栃木市(予定) 10:00~  
4月 4日(土) 第二例会 山手センター 16:00~  
4月18日(土)~19日(日) 山中ワークキャンプ 13:00~  
4月25日(土)~26日(日) 東広島20周年記念会 13:00~  
5月 9日(土) あずさ部評議会 甲府市 13:00~

### 学舎ナベ(第一) 例会報告

菘刈光彦

2月12日(木)5時東京YMCA山手センター内の学舎に集合。鍋の準備もすすみ、プロジェクターも整い、出席予定者も集合したところで、7時に小山(久)メンの司会で例会は始まった。長津会長による食器利用の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条の後、年一度の学舎例会開会の挨拶を長津会長により、大勢の方々の参加への感謝を述べた。学舎メンバー、ゲスト、クラブメンバーの自己紹介が和やかな雰囲気のうちに行われた。ひきつづき、長津会長よりスピーカーの村上祐介さん(東京YMCA会員事務局・東京北ワイズ担当主事)の紹介があった。

村上さんの卓話は「東京YMCAの会員活動と東日本大震災復興支援活動」と題して、自己紹介と東日本大震災のYMCAの働き、伊豆大島台風災害支援をお話された。小学校のとき横須賀YMCAとの出会いがあり、そのプールに通い、【次頁へ続く】



### 3月のハッピーバースデー

18日 長津 徹 さん  
21日 深田 恭司 さん  
27日 小山 久恵 さん

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 2月例会出席者

在籍 20名  
メン 12名  
メネット・コメット 0名  
ゲスト・ビジター 14名  
出席率 60%

●2月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：0円(累計：30,708円)

●プルタブ：0.0kg(累計：48.9kg)

サマーキャンプに参加。その後、大学時代に南センターで活動し、4年の時、内閣府の東南アジア青年の船に参加した事が人生のターニングポイントとなったそう。学舎のメンバーにも学生時代に色々なことに挑戦することを推奨した。その後YMCAに入り山手YMCAからフロストバレー、そして現在会員事務局に5年間在職。会員事務局における仕事は、支援者の方々から会員活動にご支援をお願いするのがメインだったが、2011年3月11日の東日本大震災の発生からガラッと変わり、仕事の内容が膨らみ多岐に亘った。国内災害支援活動はどこがやるかはもちろん会員部となり、緊急支援物資を現地で行う事と募金活動の準備を始めた。実際には妙高高原ロッジに全国のワイズからの支援と物資が集まり、そこから仙台YMCAに運ぶことが最初のプロジェクトだった。3月20日の映像を映写しながら、仙台市内から沿岸部、そして気仙沼から南三陸町の風景、その後の活動拠点となった石巻の風景の説明をされた。東北にはYMCAが仙台と盛岡に2箇所だけで、石巻と宮古の2箇所にボランティアセンターを立ち上げて現在も活動中だ。物資の支援、避難所生活でのランタン1500個提供、毛布やタオルケットの配布、祭などのボランティアワークとしてワイズの出店、うたの広場。また家族支援としての福島の方々へのリフレッシュ・キャンプや、子供支援として子どもたちの居場所づくり(子ども遊び場の公園に仮設住宅建設が進み子どもたちの居場所がなくなったため)を考へて、石巻小学校のプールでの専門学校生による子どもたちとの交流。教会の会堂を利用して、英会話の教室や仙台からの講師の講演会などが初年度の動きだった。妙高高原ロッジに届いた支援物資400箱を4回に亘って被災地へ。中には、子どもやご家族による励ましの手紙などによる、ただ物資を送ることだけでなく、心の交流もすることが出来た。

街頭募金も丸の内のオフィス街で三菱商事とおこない、昼休みの1時間だけで44万円も集まり大変なご支援を頂きました。

活動の変遷として、阪神淡路大震災の時の学びだったが、最初は緊急対応期、緊急支援期、応急対応期、そして復興期、今はこれだ。被災者の心理の事例として、英雄期、幻滅期、その後再建期にはいり、今ここにある。

「今後の展望」ということで、地震津波に関しては目に見える物であったが、福島の場合、非常に根が深く、放射能の問題がある。1月に南相馬から飯館村を通ってきたが、普段0.2を越えると運動場で遊びが出来ないことになるのだが、2.0を越えていた。こういう状況が子どもたちの遊ぶ場所を限っている。そのあいだ、妙高高原ロッジや山中湖センターで行われているリフレッシュキャンプがあり、2泊3日週末だけだがキャンプ場に来ていただいて、屋外で遊んでいただく。それが50回を超えて約2,000名の方が参加されている。福島では安心して外で遊ぶことが出来ない状況が続いている。2013年2月から国内子どもプログラムを立ち上げ、郡山市内の学校の体育館をお借りして4ヶ月に1回行っている。

被災地支援活動は長期間の支援が必要であるが、4年になると続けている企業は減ってきた。一つは資金面、募金が集まりにくくなる、助成金も少ない、原資がなくなっている。ニーズに合わせたいねいな支援、何が必要なのかを聞き取った上での支援。被災地に仕える支援。

伊豆大島では、2013年11月台風災害支援があり、支援スキームをYMCAだけで行うのではなく、東京災害ボランティアネットワークに加盟し、色々な団体がネットワークを組んでいる。三

宅島噴火災害や中越沖地震などにとりくんでいた。今回初めてこのネットワークをベースとして東京都復興ボランティアセンターという名前を立ち上げた。一番の大きなことは官民共同ということで、東京都と社会福祉評議会がNPO、NGOと一緒に支援活動を行う。課題もあるが、一歩前進した。東京都が公表している支援スキームで、大島社会評議会を支援してゆく。そこに町の繋がりがあったり、被災者がおられたり、一般ボランティアが来たりしている。YMCAとしても会議に出て、現地に行き、支援を続けている。支援初期に必要なことは、移手段の確保、ボランティアの宿泊所だが、離島なので船で運ばねばならなかった。情報も行政情報が重要。そういった上でも官民共同が大切。

最後、災害支援では、平時からの関係性を作って繋がりが大切である。特に懸念されているのは東京直下型地震が10年以内で想定されている。東側がかなりの範囲で火事になり、環七の内側に入れなくなり、新宿辺りを拠点として物資を流し込んでゆくのが良いとされている。遠い話ではないので、平時から覚悟して、まず身を守ることと、避難所はどこに有るかを確認するよう述べられた。

質疑応答ではさまざまな質問や意見が述べられた。

ゲストスピーチの終了後、長津会長から村上さんに謝礼が手渡され、村上さんは東日本大震災支援募金に献金されるとお話になった。



Happyバースデーでは、谷治英俊さんを全員でお祝いした。報告事項

1. 次年度会長会幹事に長津会長が選ばれた。次年度と次々年度の2年間を担当する。



【3つのテーブルで3種類のナベを楽しみました】

2. 4月25日(土)～26日(日) 25日(土)13時から、DBC東広島クラブ創立20周年記念例会が広島YMCA国際文化ホールで行われる。26日(日) DBC3クラブ交流会。

3. 次期会長は大谷博愛メンに決定。

食前感謝のお祈りを菰淵光彦メンが行い、引き続き、3つの食卓に分かれて海鮮、水炊き、キムチの3種類の鍋を囲み学舎の方達と楽しい夕食を共にした。各食卓を渡り歩く人はあまりなく、ほとんどの人が最初に席を占めた鍋のみを食していた。それだけ年寄りと若者の会話がはずみ、ワイズと舎生との交わりが深くなったと言えよう。

最後は流れ解散となり、最終組は昨年より早く10時過ぎには学舎を離れた。

出席者：長津会長、江原、小野田、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田、島田、菅原、立田、御園生、岡田担当主事

小泉(行)、小泉(良)、陳、朴、松浦、村山、山口、山田(学舎)、久保田(東京八王子)、蔵知(学舎OB)、中澤、服部(東京たんぼぼ)、村上(東京YMCA)、谷治(参遊會)

8. 7月31日(金)～8月2日(日)の京都アジア大会への参加の勧めと、台北ユニオンとの交流会への参加の勧め。3月31日がアーリーバードの締切期限。

9. 次期キャビネットは4月のワークまでに決める。

以上のことが話し合われ確認された。

早目に例会を終わらせ、いつもの伊丹亭で「本音で語ろう会」を開催。

出席者：長津会長、小山(憲)、菰淵、立田、御園生

## あずさ部第2回バレンタイン評議会

小山憲彦

2月14日(土)、まさにバレンタインの日に山手センターで評議会は開催された。出席者は60名だった。

出席者の確認、評議会の成立宣言の後、議案審議が行われた。

第1号議案：2015-16年度 部役員承認の件【承認】

部長	標 克明さん(甲府)
書記	荒川洋一さん(甲府)
会計	小倉恵一さん(甲府)
地域奉仕事業主査	後藤明久さん(富士五湖)
会員増強事業主査	並木信一さん(東京八王子)
国際・交流事業主査	小原史奈子さん(東京たんぼぼ)
ユース事業主査	渡邊大輔さん(東京武蔵野多摩)
メネット連絡員	葉袋けさみさん(甲府21)
甲府会長	秋山仁博さん
東京山手会長	浅羽俊一郎さん
東京西会長	高嶋美知子さん
東京武蔵野多摩会長	宮内友弥さん
松本会長	飯島羨穂さん
東京サンライズ会長	大谷博愛さん
甲府21会長	駒田勝彦さん
東京八王子会長	長谷川あや子さん
東京たんぼぼ会長	服部節子さん
富士五湖会長	小池又彦さん
長野会長	森本俊子さん

【すべて承認】

## 第二例会報告

小山憲彦

2月21日(土)16時から、山手YMCAで第二例会を開催しました。出席者が少なく決定事項はなく、行事の確認だけで終わりました。

- 3月12日(木)の第一例会の卓話者は、島田さんの友人の西田浩子さんに決定。
- 3月21日(土)の第二例会は第一候補「栃木市」を散策する。すぺーしあのを確保する都合上、なるべく早く参加者を確定させる必要が有る。
- 3月末に妙高スキーをとの提案が京都プリンスよりあった。
- 4月第二例会は、4日(土)16時から山手センターで開催。
- 山中ワークは18日(土)～19日(日)に行う。早目に具体的なワークの内容と出席者の確認をする。
- 4月25日(土)～26日(日)のDBC東広島クラブ創立20周年記念例会とDBC3クラブ交流会の出席者の確認と宿の確保。
- 6月 6日(土)～7日(日)の東日本区大会への参加の勧め。



- 第2号議案：2015-16年度 次期部長推薦の件  
浅羽俊一郎さん(東京山手クラブ) 【承認】
- 第3号議案：2014-15年度 中間決算承認の件 【承認】
- 第4号議案：2015-16年度 部選出代議員承認の件  
望月 勉さん(富士五湖クラブ) 【承認】
- 第6号議案：2014-15年度 あずさ部CS助成金配分の件  
松本クラブ(アジア賞私費留学生作文コンテスト)  
50,000円  
富士五湖クラブ(障がい者フライングディスク  
大会 in 郡内) 50,000円  
東京武蔵野多摩クラブ(くにたちさくらフェス  
ティバル 活動プロジェクト) 30,000円  
東京たんぼぼクラブ(わくわくサロン 石巻グ  
ループホーム 歌の出前) 30,000円  
東京八王子クラブ(台湾・高雄市ユースオーケス  
トラ八王子演奏会の誘致) 20,000円  
甲府21クラブ(山梨チャリティーランの開催)  
20,000円  
【全て承認】
- 第7号議案：新クラブ設立に伴う助成金の件  
東京武蔵野多摩クラブ(ウランバートルクラブ設  
立のための支援助成金 50,000円) 【承認】

続いて、部長・各事業主査・各会長の活動報告がなされ評議会は無事閉会した。



【真剣に協議をかさねた。】

閉会式、望月部長の閉会点鐘の後、写真撮影を行い、第2部懇親会(茶話会)が、お茶による標(シメキ)次期部長の乾杯の発声で始



【最近のあずさ部はお茶とお菓子で懇親会を開きます。この後を楽しみに！】

められた。司会の山口さんの「地下での二次会が待っています。但しココの地下ではありません。下にはプールしかありません。」との案内に、次を心待ちにしながら歓談の時を持った出席者が大勢見受けられた。

さすがあずさ部、30数人のメンバーがいつものように地下室での二次会を楽しんで散会となった。

サンライズの出席者：長津会長、小山(憲)、小山(久)、菰渕、柴田、御園生

### お散歩例会

#### お散歩委員会

3月の第二例会はお散歩例会です。桜の咲き始めの頃ですが、少し早いかもしれません。下野の小京都、栃木、足利あたりを散策しようかと考えています。新宿・池袋から栃木市までの直通電車も走り、ずいぶん便利になってきました。栃木・巴波川沿いの散策に加え、できれば足利まで足を延ばせればと思います。スペースの座席を確保しなければなりませんので、参加希望の方は急いで会長までご連絡ください。

長津機長：090-8056-7640

### 山中ワーク

#### 山中ワーク委員会

既にブリテン等でお伝えしましたが、今年度の山中ワークは、4月18日(土)~19日(日)に変更になりました。昼食を済ませ、13時に遅れないように山中湖センターにお集まりください。

ワークの内容は決まっていますが、天野所長とも相談し、多くのメンバーが老いて来ているので、肉体的にあまり厳しくないものにしたいと思います。山中湖センター90周年記念事業でかなり整備されているので、やることはそう多くないと思われます。①グリーンチャペルの案内ボードの作成。②桜並木の整備。③キャビンの屋根の清掃。④キャビンの外壁の防腐塗料の塗布。などが考えられます。山中ワーク委員会と山中湖センターとの打ち合わせの結果は、まとも次第お伝えします。

今年こそはサンライズ桜の花見が出来そうです。御家族、知人、友人を大勢誘って、ぜひご参加ください。

“山中のサンライズ、サンライズの山中です。”

### 2015 東日本区大会

#### キャビネット

開催日：2015年6月6日(土)~7日(日)

会場：神奈川県厚木市 厚木市文化会館/レンブラントホテル  
登録費：16,000円(メン・メネット)

6月6日：開会式、理事・事業主任・部長報告、ロボットアワー、  
分科会：参加自由、事前登録制

- ①YMCAとの協働
- ②ユース支援
- ③アジア地域のエクステンション
- ④CS(地域奉仕)とNDERF(自然災害緊急復興基金)

晩餐会、フェロシップアワー

6月7日：聖日礼拝、表彰式、理事引継式、役員引継式、閉会式

【大会の特徴】2日目の開始時間を例年より遅らせ、都内から2日間の日帰り参加を可能にしました。

他部・他クラブのメンバーとの新しい出会いと交流の時間が待っています。奮って参加しましょう。登録は個人で。

## 四十肩

長津 徹

wikiによると正式には五十肩らしい。最初になったのは50歳台になってからと記憶していて、その時は半年くらいで何とか直った。今度で3度目、左・右と片方ずつだった。しかし今回は左で発症したのが右にも症状が転移して、合計1年近く痛い思いをしている。その間ゴルフで背中を痛めたり、一度引退した仕事を再開したりと悪い要因ばかりだ。ストレッチを懸命にしたおかげで、最近やっと背中に手が届くようになってきた。暖かくなれば何とかなるのだろうか。加齢による体の変化はいかんともしがたい。周りの会話で病気の話がよく出るようになったのも、自分自身がその関に達したのだろうか。仕方ないことなのか、...

## 2015 京都アジア地域大会

キャビネット

開催日：2015年7月31日(金)～8月2日(日)

会場：ウェスティン都ホテル京都

登録費：35,000円(3月31日までの早期割引)、39,000円

宿泊は別料金

## 【大会プログラム】

- 1日目：開会式、国際会長/アジア地域会長就任式、  
基調講演(宇宙飛行士：毛利 衛さん)、  
直前アジア地域会長主催晩餐会、フェローシップアワー
- 2日目：分科会、  
エクスカッション(参加無料・予約制)
- ①日本の伝統芸能「能」観劇
  - ②世界遺産・宇治平等院鳳凰堂と宇治茶体験の旅
  - ③世界遺産・嵐山天龍寺とトロッコ列車の旅
  - ④世界遺産・比叡山延暦寺と座禅体験の旅
  - ⑤京都 酒どころ伏見で利き酒と龍馬ゆかりの船宿「寺田屋」への旅
  - ⑥京都 岡崎ぶらり自由散策
- 新アジア地域会長主宰晩餐会
- 3日目：聖日礼拝、フォーラム、AYC報告会、閉会式

直近の連絡では、不確定ながら、台北ユニオンのメンバーは約20人前後で、大会前に来日し観光の後に大会参加。大会終了後はサンライズと一緒に京都に一泊して交流を深める予定の様です。台北ユニオンとDBC3クラブとの交流会も予定しています。新しい出会いと交流の時間が待っています。奮って参加しましょう。アジア大会のアーリーバード(早期登録割引)は3月31日までです。

## あずさ部第三回評議会と甲府65周年記念例会

キャビネット

開催日：2015年5月9日(土)13:00～ 周年記念：16:00～

会場：甲府市 岡島ローヤル会館

登録費：評議会 未定

甲府クラブ65周年記念会 3,000円

あずさ部第三回評議会と甲府クラブ65周年記念の同時開催です。両方出席できる良いチャンスですので、お祝いを兼ねてぜひ出席しましょう。申し込みは会長まで。

## 東日本区ニュース 第9号

2015年3月1日発行

東日本区理事 田中博之

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

\*\*\*\*\*

## ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。ぜひ他クラブ訪問を実行してみてください。

- ◆ 3月 1日(日)13:00～ 東京八王子・揚がれ！希望の風(高尾の森 わくわくビレッジ)
- ◇ 3月 3日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇ 3月 9日(土) 9:50～ 東京たんぼぼクラブ
- ◆ 3月 9日(土)13:30～ リビー・チャリティーコンサート
- ◇ 3月10日(火)20:00～ 富士五湖クラブ
- ◇ 3月14日(土)17:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇ 3月14日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇ 3月15日(日)11:30～ 甲府クラブ野外例会
- ◆ 3月15日(土)13:00～ 八王子・チャリティーコンサート
- ◇ 3月17日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇ 3月18日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇ 3月19日(木)18:30～ 東京西・世田谷クラブ合同例会
- ◇ 3月28日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◆ 4月25日(土) 9:00～ 富士五湖・フライイングディスク大会(富士吉田パインズパーク)

## 東広島クラブ20周年記念例会

交流委員会

4月25日(土)13時より、広島YMCA国際文化ホールにて、DBC東広島クラブの20周年記念例会が開催されます。翌日の26日(日)には、東広島・京都プリンス・サンライズのDBC3クラブの親睦行事も予定されているそうです。帰りの新幹線は京都プリンスとご一緒にワイワイガヤガヤと。電車と宿の手配がありますので、出席される方は早目に会長まで。

## サンライズホームページのお知らせ

キャビネット

7月よりサンライズのホームページが拡充されました。

【<http://yssunrise.com/wine.html>】

PDF版のブリテンの掲載も始めましたのでご覧ください。

【<http://yssunrise.com/info.html>】

バックナンバーもおいおい充実させています。古いブリテンもご覧いただけます。

## 会費納入のお願い

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座：6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

## YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

- 2月13日、霊南坂教会を会場に、石巻支援センターの活動を支えるための「ウィンターコンサート」が開かれた。このコンサートは、本法人理事である飯靖子氏が指導されている洗足学園音楽大学 讃美歌ゼミの学生によるもので、一昨年の夏より石巻の仮設住宅や老人施設などで演奏会を開催している。104名が集った。益金はセンターの活動のために用いられる。
- 今年で9回目となる子育て講演会が、しのめYMCA こども園で2月14日に行われた。「Yわい★ハッピートーク ー子育てが3倍楽しくなるー」と題して育児コンサルタントの川村 都氏を講師に招き、125名の参加者があった。昨年に比べて参加者、託児利用者、協賛団体などが増え、理解と支援が広がった講演会となった。
- 東日本大震災四周年礼拝「今、ともに祈る 明日のいのちのために」が3月8日、山手センターで行われる。当日は上竹裕子牧師(日本基督教団 磐城教会)からメッセージをいただき、復興支援報告や懇親茶話会、東北の物産販売などが行われる。今回はゲストとして石巻在住でケアマネージャーをしている阿部安子氏を迎えて話を伺う予定。
- 専門学校の卒業式
 

・社会体育保育・専門学校	卒業生	141名
3月6日 霊南坂教会		
・国際ホテル専門学校	卒業生	134名
3月13日 霊南坂教会		
・(学校法人)医療福祉専門学校	卒業生	76名
3月13日 くにたち市民芸術小ホール		
・にほんご学院	卒業生	36名
3月20日 東陽町センター		
- 今後の主な行事日程
  - ・東日本大震災4周年礼拝・報告会  
3月8日 山手センター
  - ・山手センター東日本大震災復興支援街頭募金  
3月8日 高田馬場駅前
  - ・第24回チャリティーゴルフ大会  
4月9日 総成カントリークラブ

## 編集後記

先日近所で肉屋さんが閉店した。住宅街の中にある小さな商店街の出来事だった。10数年前に私が越して来たころ、その小さな商店街で八百屋さんが店じまいをした。小さな小さな愛すべき商店街がゆるい坂道を挟んでL字型に続いていた。ここ10年ほどの間に、まず喫茶店、続いて魚屋、酒屋、雑貨屋の順に閉店し、2年ほど前に豆腐屋、続けて本屋が店じまい。今では、ラーメン屋と床屋にパーマ屋、水道工事店と工務店だけになってしまった。ひばりヶ丘と東久留米のちょうど中間、駅前のスーパーに立ち寄ったら殆んど用の無い商店街だったが、お店があるというだけでほのぼのとした雰囲気があった。今はただ人が通り過ぎるだけの道路になってしまった。

(Non.O)

## 山中湖センターだより

山中湖センター 小俣雅稔さん

皆様こんにちは、幾分暖かくなって参りましたがお変わりなくお過ごしでしょうか。

山中湖の今年の冬は、雪も少なく安堵しております。

センターでは、修繕、清掃作業も終わろうとしております。センターとしてはオープンシーズンとなるキャンプが今月から訪れます。今年もより良いキャンプを行って頂けるようにスタッフ一同邁進してまいります。

さて、私事では御座いますが、誠に勝手ながら3月をもちましてYMCAを退職することになりました。3年間と短い時間ではありましたが、サンライズの皆様には大変お世話になり感謝しております。

これからも皆様の変わらぬご尽力をよろしく申し上げます。YMCAとサンライズ皆様のご健勝と益々の発展をお祈り致します。

## 西条便り

今月は休載します

## 今月の京都プリンスクラブ

今月は休載します

## 強調月間：BF

国際・交流委員会

BFは、Brotherhood Fundの略称で、メンバーの国際交流の資金を作る国際事業です。今年度の東日本区の目標は、メンバー一人当たり2,000円です。

資金集めの方法としては、使用済み郵便切手を集める方法と、現金による方法があります。

BF代表とは、国際から旅費を支給されて、他地域を訪問する代表のことで、前年度のBF拠出実績に応じてBF使途委員会が次年度のBF代表枠(どの地域からどの地域へ何人)を決めて、公募します。

BF代表にはフルグラント(全額補助)とパーシャルグラント(一部補助)の2種類があります。フルグラントは少なくとも3週間、他地域のクラブを目的を持って訪問します。スケジュールは訪問先のTCのつくる旅程によって行動します。

パーシャルグラントは国際大会や地域大会(アジア大会)に参加する際に実費の50%程度の補助が与えられます。大会出席以外の義務はありません。

毎年、区大会に合わせて何人かのBF代表が日本を訪れます。各部、各クラブにおいてBF代表が訪れた場合は、これを歓迎すると共に、出来るだけ多くの会員が友情交換の機会が持てるようなプログラムを考えてください。